

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-242217

(43)公開日 平成5年(1993)9月21日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/62	3 2 5 D	8125-5L		
15/20	5 4 6 Z	7343-5L		
15/66	4 5 0	8420-5L		
G 0 9 G 5/40		8121-5G		
H 0 4 N 1/387		4226-5C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全5頁)

(21)出願番号 特願平4-45128

(22)出願日 平成4年(1992)3月3日

(71)出願人 000192545

神戸日本電気ソフトウェア株式会社

兵庫県神戸市西区高塚台5丁目3番1号

(72)発明者 後藤 修一

兵庫県神戸市西区高塚台5丁目3番1号神

戸日本電気ソフトウェア株式会社内

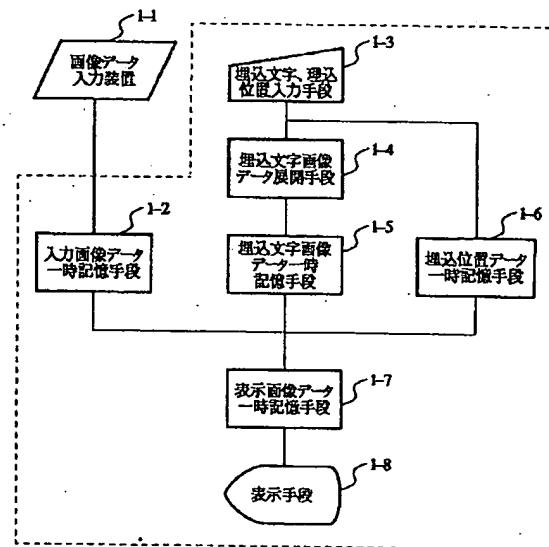
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 画像データへの文字埋込方式

(57)【要約】

【目的】埋込対象となる画像データを加工、破壊することなく文字を埋込むことを可能とする。

【構成】埋込対象となる画像データは1-2へ転送し埋込文字の画像データは1-5へ転送する。そして、1-6の埋込位置データを元にして、1-7の表示画像データ時記憶手段上で、1-2と1-5に記憶されている画像データを合成し、1-8に転送し、表示を行うことにより、埋込対象となる画像データ1-2を加工、破壊することなく文字埋込を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像データ入力装置（1-1）より入力された画像データの一時記憶手段（1-2）と埋込文字、埋込位置の入力手段（1-3）と、入力された埋込文字の画像データ化手段（1-4）と、入力された埋込位置データの一時記憶手段（1-6）と、表示画像データの一時記憶手段（1-7）と、表示画像データの表示手段（1-8）を含む画像データへの文字埋込方式において、埋込文字画像データ記憶手段（1-5）を備えると共に、表示画像データ一時記憶手段（1-7）に、入力画像データ一時記憶手段（1-2）からの画像データと共に埋込文字画像データ化手段（1-4）により画像データ化された文字を埋込位置データ一時記憶手段（1-6）のデータを元に合成した、画像データとして記憶後、表示手段（1-8）に表示することを特徴とする画像データへの文字埋込方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は画像データへの文字埋込方式、特に、電子ファイリングシステムあるいは、画像データ編集システムなどにおける画像データへの文字埋込方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 電子ファイリングシステムや画像データ編集システムなどにおける画像データへの文字の埋め込みは、オフィス等において報告文書等を画像データを編集し、作成した場合にタイトルを埋め込んだり、日付や、ページ等を埋め込む場合に利用されてきた。この場合の方法としては、埋込文字画像データを埋込対象画像データに直接埋め込むことにより実現されていた。

【0003】 図2は従来の一例を示すブロック図である。画像データ入力装置2-1より読み込まれた埋込対象となる画像データは入力原稿画像データ一時記憶手段2-2に送られる。ここで埋込文字、埋込位置入力手段3より入力された埋込文字は、埋込文字画像データ展開手段2-4により画像データ化され、埋込文字、埋込位置入力手段2-3より入力された埋込位置データにより、入力画像データ一時記憶手段2-2の画像データと合成され表示画像データ一時記憶手段2-7へ送られ、表示手段2-8により表示される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 前述のような技術により、画像データに文字を埋込んだ場合、埋込文字画像データを直接埋込対象画像データに埋め込み、それを表示画像データ一時記憶手段に転送し、表示するわけであるから、当然文字を埋込んだ箇所の埋込対象画像データは文字の画像データとなっており、入力時の画像データは書き換えられている。

【0005】 この時点で埋込んだ文字の埋込位置を変更する必要があった場合や埋込んだ場所の画像データを元

に戻したい場合には、再度埋込対象画像データを入力し直し、再び文字を埋込み直す操作が必要となり、埋込む文字数が多い場合等は特に、使用者の心理的、生理的な負担がきわめて大となるという欠点があった。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明の画像データへの文字埋込方式は、画像データ入力装置（1-1）より入力された画像データの一時記憶手段（1-2）と埋込文字、埋込位置の入力手段（1-3）と、入力された埋込文字の画像データ化手段（1-4）と、入力された埋込位置データの一時記憶手段（1-6）と、表示画像データの一時記憶手段（1-7）と、表示画像データの表示手段（1-8）を含む画像データへの文字埋込方式において、埋込文字画像データ記憶手段（1-5）を備えると共に、表示画像データ一時記憶手段（1-7）に、入力画像データ一時記憶手段（1-2）からの画像データと共に埋込文字画像データ化手段（1-4）により画像データ化された文字を埋込位置データ一時記憶手段（1-6）のデータを元に合成した、画像データとして記憶後、表示手段（1-8）に表示することを特徴とする。

【0007】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0008】 図1は本発明の一実施例を示すブロック図である。図1においては1-1は光ディスクやイメージスキャナ等の画像データ入力装置、1-2は入力画像データ一時記憶手段、1-3は埋込文字及び埋込位置入力手段、1-4は埋込文字画像データ展開手段、1-5は埋込文字画像データ一時記憶手段、1-6は埋込位置データ一時記憶手段、1-7は表示画像データ一時記憶手段、1-8は表示手段を表している。

【0009】 入力装置は、画像データ入力装置1-1と埋込文字、埋込位置入力手段1-3であり、画像データ入力装置は文字の埋込対象となる画像データを入力する。埋込文字、埋込位置入力手段1-3は装置の起動、停止、および埋込文字、埋込位置の入力をを行う。入力画像データ一時記憶手段1-2は、画像データ入力装置1-1より入力された画像データが記憶されており、埋込位置データ一時記憶手段1-6には、埋込文字、埋込位置手段1-3より入力された埋込位置データが記憶されている。埋込文字画像データ展開手段1-4は、埋込文字、埋込位置入力手段1-3より入力された文字を画像データに展開するものであり、埋込文字画像データ一時記憶手段1-5は、埋込文字画像データ展開手段1-4により展開された文字画像データを記憶するものである。出力装置は表示手段1-8であり、表示画像データ一時記憶装置1-7は、入力画像データや、埋込文字画像データ等の画像データを合成する等して作られた表示用の画像データを記憶するものであり、表示手段1-8で表示される。

【0010】 画像データ入力手段 1-1 より入力された画像データは入力画像データ一時記憶手段 1-2 に記憶され、表示画像データ一時記憶手段 1-7 に送られ記憶された後、表示手段 1-8 に表示される。この表示された画像データに対し、埋込文字、埋込位置入力手段 1-3 より埋込位置が入力されると、埋込位置データ一時記憶手段 1-6 に記憶される。そして埋込文字か、埋込文字、埋込位置入力手段 1-3 より入力されると、埋込文字画像データ展開手段 1-4 により、画像データ化され、埋込文字画像データ一時記憶手段 1-5 に記憶された後、埋込位置データ一時記憶手段 1-6 に記憶されている埋込位置データを元に、表示画像データ一時記憶手段 1-7 条に入力画像データ一時記憶手段 1-2 の入力画像データと合成され、表示手段 1-8 に表示される。

【0011】 ここで埋込位置を変更する必要があった場合の動作の説明をする。埋込文字、埋込位置入力手段 1-3 より埋込位置を入力し直す。埋込対象となる入力画像データは入力画像データ一時記憶手段 1-2 にて記憶されており、画像データの書き換えも行なわれていないため、前述の埋込位置データの記憶～ディスプレイ装置による表示を繰り返すことにより、埋込位置の変更が何度も行うことができる。また同様に、文字を埋込んだ場所の画像データを元に戻す必要があった場合も、埋込文字、埋込位置入力手段 1-3 より指示をさせることにより、入力画像データ一時記憶手段 1-2 にて記憶されている画像データを表示画像データ一時記憶手段 1-7

に送り表示手段 1-8 に表示する。

【0012】

【発明の効果】 以上述べてきたように本発明は、画像データに文字を埋め込む際に、埋込対象となる画像データ一時記憶手段と、埋込文字画像データ一時記憶手段とを別にすることで、埋込対象画像データを書き換える事が無くなる。この事は、埋込位置を最初から正確に指定しなくとも、何度も思考を繰り返す事が可能となり、使用者の心理的、生理的な圧迫感が軽減するという効果がある。また、本発明では、一つの埋込対象画像データ上で、埋込位置が変更できる事を述べたが、埋込対象となる画像データの方を入力し直す事により、複数の異なる画像データに同一の文字画像データを埋込む事ができ、より一層、使用者の負担を軽減できる。

【図面の簡単な説明】

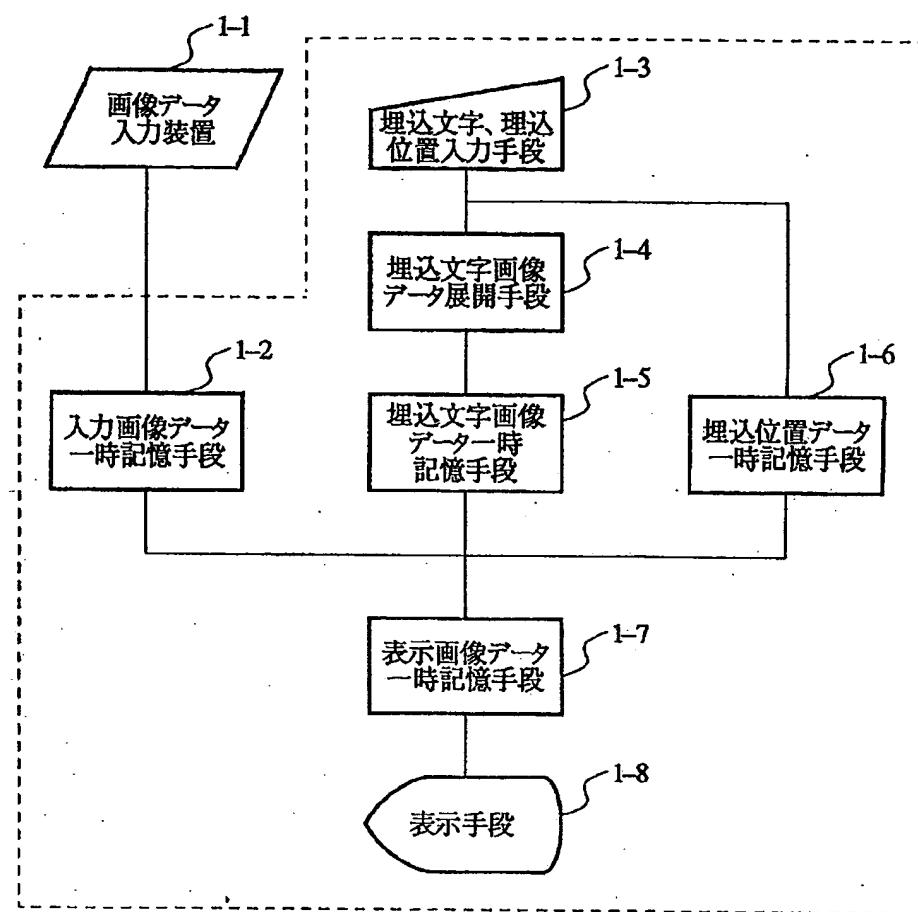
【図1】 本発明の一実施例を示すブロック図である。

【図2】 従来例の一例を示すブロック図である。

【符号の説明】

1-1	画像データ入力装置
1-2	入力画像データ一時記憶手段
1-3	埋込文字、埋込位置入力手段
1-4	埋込文字画像データ展開手段
1-5	埋込文字画像データ一時記憶手段
1-6	埋込位置データ一時記憶手段
1-7	表示画像データ一時記憶手段
1-8	表示手段

【図1】



【図2】

